

人生を謳歌する 15人のカッコイイ経営者たち



大博鋼業株式会社 代表取締役 山口毅さん

自動車、建設機械などの部品に使用されるシャフトの卸販売として昭和21年の創業以来安定した成長を続けられ、今では業界トップクラスの地位を誇る会社を継承された山口社長。社長就任後に最も変化があったのが、社員さんの山口さんへの接し方でした。山口さん自身は何も変わっていないと思っけても、立場が変わることで社員さんは“社長”として接される事に少し違和感を感じられた山口さん。社員さんとの距離を近く、コミュニケーションを何よりも大切にされている山口さんが、その想いがより伝わる様にしたいとイルサルトにお越し下さいました。そこでスーツよりはカジュアルになりますが、“寄り添う姿勢”を印象付ける事の出来るジャケットパンツスタイルをご提案させて頂きました。

山口さん
からの
声

経営者になってから部下が今までと異なり、私に気を遣って接してくることに悩んでおりました。そこでイルサルトさんに相談し、部下から気軽に声をかけられるような経営者の装いを願いました。その装いにより部下から接し方が変わったのは当然のことながら、特筆すべきは私自身の行動に変化が表れたのです。「なりたい自分」を装っているのだから、部下に対する自分の行動も部下視点で親しみやすい雰囲気になっていたのです。つまりそのスーツを装うことで「なりたい自分」を先取りし、自然とその目標に向かう習慣がついていたのです。まさにイルサルトマジックですね！



アルソア静岡 アルソア化粧品 高橋紀久さん

石川北販社として石川県を中心にアルソア化粧品の販売及び代理店育成のお仕事を奥様と共にされている高橋さん。アルソア化粧品は今から45年前に「人と自然との調和の中に心の健康と幸福を創る」という理念の元、創業された山梨県小淵沢に本社を置く老舗化粧品メーカーです。化粧品の他に栄養補助食品などの取り扱いもされているのですが、その効能が素晴らしい事をご自身でも証明されるかの様に高橋さん自身が非常に洗練とされ、スマートなスタイルも見事にキープしとても実際の年齢には見えない若々しさを保たれています。周囲の方に細かな気配りをされ非常に紳士的な立ち居振る舞いが印象的な高橋さん、装いをご提案させて頂く際には高橋さんがお持ちの品の良さや温かさをより印象付けられる様なものを厳選しています。

高橋さん
からの
声

スーツを着る機会は普段は少ないのですが大切なパーティや式典に出席する時にはイルサルトのスーツです。体にフィットしているのにストレッチ素材かのような着やすさがとても気に入っています。また動めていただく生地が仕上がって来ると見事に自分にハマるので、さすがプロの見立ては素晴らしいと思っけています！



ストロング金属株式会社 代表取締役 谷健次さん

経営者としてのキャリアを積んでいく中で「自己肯定感」が上がりどんどん素敵になられる。谷さんもそんな1人です。東大阪市で『高品質掛け金具専門メーカー』として建築物やDIY用品を製造販売する会社を経営される谷さん。初めてお越し下さった時から『経営者の装いの重要性』を理解され、自社のパンフレットを手にお仕事の説明をして下さり“商品の価値を自分の存在を通してより伝えていきたい”と仰っていたのが非常に印象的です。お使いになるお言葉から立ち居振る舞いに至るまで非常に丁寧に『信頼感や誠実さ』を何よりも大切にされている事が言葉に出さなくても自然と伝わってくる方です。

谷さん
からの
声

自分のイメージや体に合った服は、ストレスなく非常に心地良さを感じます。すると猫背癖が解消し、姿勢も良くなりました。お陰様で周囲からカッコいい、綺麗なラインのスーツをを召してすねと褒めて頂け、人と会う際の自信が持てた気がします。身なりを整えることは、会う人へのギフトと教わり実践しています。末廣さん今後も宜しくお願いします。



ナカトミファティグケアクリニック 院長 株式会社313 代表取締役 中富康仁さん

大阪市中央区高麗橋で『疲れ』を専門に取扱い、さまざまな角度からフォローとケアを行うクリニックを経営される中富さん。又メンタルヘルス問題に対し医療、経営・労務管理のプロフェッショナルが集結し心強いパートナーとして経営者に寄り添い、組織を活性化させる事を目的にクリニック以外にも様々な活動を精力的にされています。組織を活性化させ生産性を向上させる希望の存在でありながら、『あくまでも主役は“お客様”』自身が派手に出過ぎなく“受け容れられる存在”でありたい、そんな明確な思いをお持ちでした。そこで装いを創る上でのキャッチコピーを“経営者、スタッフ双方に寄り添い専門家を束ね、企業の生産性を上げるメンタルヘルス問題解決のプロフェッショナル”と決めご提案させて頂きました。

中富さん
からの
声

雰囲気のあるレトロな建物のドアをくぐると、自分の名前が書かれたボードが置いてある。仕事、プライベート、いつのまにかこちらも真剣に、ときに気軽に、時間を忘れて話してしまふ。なりたい自分、みせたい自分、なるべき自分を末廣さんに仕立てていただいたスーツで整えてもらう、そんな贅沢を味わえるお店だと思っけています。



日本パーソナルブランド協会 代表理事 立石剛さん

日本で唯一、パーソナルブランドの専門家を育成する“日本パーソナルブランド協会”の主宰をされる立石さん。セミナー講師の甲子園と呼ばれている“セミナーコンテスト”を10年間も継続され、数多くのブランド人を世の中に輩出されています。立石さんの言うブランディングとは表層的な見せ方ではなく『生き方そのもの』を見つける事。誰とも比較しない自分らしい生き方にどう気づくのか？まさに人の魂に深く入り込んでいかれている、私はその様に感じました。いつも身につけておられる紫は、その神聖な領域に入っていき立石さんの覚悟、そして代表理事としての品格を表しています。又立石さんは同志社大学をご卒業されているのですが同志社大学のカラーがこの紫で卒業生としての誇りを生涯忘れずにいたいと言う思いを込めているのです。

立石さん
からの
声

じつはスーツをオーダーしたのははじめてでした。採寸からはじまるわけですが、何が似合うかではなく、どう見せたいかを末廣さんと一緒に考えられたことは貴重な体験でした。完成したスーツを着た瞬間、新しい自分に生まれ変わったような気がしました。私にとってイルサルトさんのスーツはなりたい自分になるための必須アイテムです。